

2024
6



制作の様子

2024年コレクション展Ⅰ「白髪一雄生誕百年特別展示 ―コレクションからザ・ベリー・ベスト・オブ・白髪一雄―」展関連こどものイベント

「アクションペインティングにちょうせん！」

■開催日時：2024年6月23日(日) 13:30～15:30

■参加者：こども15名、大人15名

■対象：小学3年生～中学生

■場所：アトリエ2、常設展示室

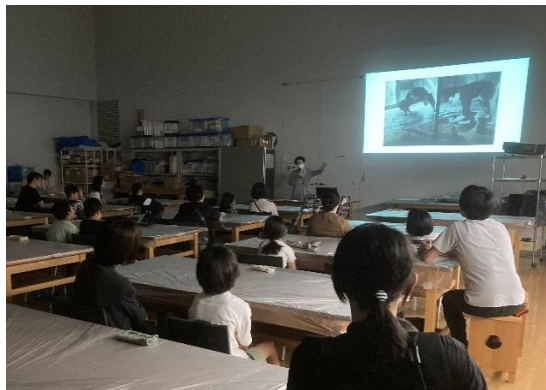
■概要

常設展示室で開催されている白髪一雄さんの展覧会を鑑賞した後、みんなでアクションペインティングに挑戦しました。

■1 オリエンテーション

相良学芸員からご挨拶と今日の活動内容について案内があった後、この展覧会を企画した鈴木学芸員から白髪一雄さんの作品についてレクチャーがありました。

「みんなは普段何で絵を描いていますか？色鉛筆？筆かな？実は、白髪さんはキャンバスを床に置き、手や足で絵を描いた画家です」正面のスクリーンには、実際に白髪さんが足で絵を描いている写真が映り、参加者は興味津々で鈴木学芸員のお話を聞きました。



レクチャーの様子

◇こどもの感想（※原文をそのまま紹介）

- ・しらがさんの作品を見て、こんなかきかたがあるんだなと思いました。知らなかったかきかたや、いろののっけかたがわかりました(小3)
- ・きれいな色にするのがむずかしかったです。色をまぜたらどんな色になるのかワクワクしました。(小3)

◇保護者の感想

- ・先に鑑賞させていただいたことで、新たな見方や描き方を知ることができ、それが実際に描くときに活かされているところもありました。
- ・白髪さんの絵の特徴を知ることができる良い機会になった。こどもは絵の具をたっぷり使って描けてとても楽しそうだった。

■2 展覧会の鑑賞

鈴木学芸員のお話を聞いた後、みんなで展示室に白髪さんの作品を見に行きました。

「エッ！？こんなに大きいの！？」展示室に入ると、参加者は作品の大きさにびっくり！近づいて見てみると、キャンバスには絵の具がもりもりと盛り上がり、ひもにぶら下がりながら足を動かして描いた勢いのある跡も残っていて、とても迫力がありました。



鑑賞する参加者の様子



小さな紙で試作

■3 制作開始！

展覧会を鑑賞した後、アトリエにもどり、いよいよアクションペインティングの始まりです。展示室で見た白髪さんの作品を思い出しながら、小さな紙に手や割りばし、スプーンなどの道具を使って、いろいろな描き方を試しました。制作の後半は大きな紙に挑戦です！最初は手をつかって描くことをためらっていた参加者も、次第に絵の具の感触に慣れ、最後にはダイナミックに描くことができました。

■4 ふりかえり

絵の具がたっぷり付いた手を洗ったら、みんなで今日の鑑賞と制作をふりかえりました。

鑑賞では、「白髪さんの作品は絵の具がたくさんのもっていたけど、あんまり混ざってなくてきれいだった」「（絵の具の）かたまりがあって、すごかった」との意見が。制作では「手で描くのが楽しかった！」という声のほか、「たくさん色を混ぜると違う色になるから、色の使い方がむずかしかった」という鋭い意見もありました。

ほかにも、描いたときのポイント、気づいた点について報告してくれるなど、有意義なふりかえりとなりました。



制作の様子

みんな、参加してくれて
ありがとう！



美術館のようせい イベチャン

□担当学芸員からのコメント

白髪一雄さんの作品には、実際に見ないと分からない迫力や質感があります。展示室で作品をよく観察したあと、指や手のひら全体を使って、その動き＝アクションで絵を描くことに挑戦しました。絵の具の感触を確かめたり、色の混ざり具合を試したり…そうしているうちに、ストローを吹いて絵の具のしぶきを散らすなど、足で描いた白髪さんに引けを取らない、独自の技法が、次々に生み出されました。（鈴木学芸員）